

登録コード	SD502300	開講年度	2026				
授業題目	資源地質学					担当教員	江島 輝美
英文授業名	Resources Geology					副担当	森清 壽郎
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・2時限	対象学年	3年
講義室	理学部第11講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 S カリ, 2 5 S カリ, 2 4 S カリ, 2 3 S カリ						
	【2023年度以降加修対象】理学の各分野における専門知識				自然科学における知識と理論を深く学び、その法則性を理解し説明できる力を身に着ける。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	資源地質学 では、前半で代表的な金属鉱床について講義を行う。後半では、日本を代表する鉱床について学生自身が自ら調べ、知識を深める。鉱床についての文献調査は、講義の事前事後学習で行ってもらい。講義時間は、調べる内容、データの調べ方、まとめ方、発表の仕方等について指導する。						
(5)授業のキーワード	資源学、鉱床地質学、応用地質学、鉱石						
(6)授業計画	1．鉱床の分類 2．マグマ鉱床 3．熱水鉱床 4．堆積鉱床 5．日本の鉱床（歴史） 6．日本の鉱床（鉱石） 7．日本の鉱床（成因）および授業アンケート						
(7)成績評価の方法	前半に関しては、講義の内容を正しく理解できているかを確認するための小テストを行う。小テストは4回目の講義の後半で行う。 後半に関しては、事前学習で調べた内容をレポートとしてまとめる。調べ学習は各自で行い、レポートも各自が提出する。レポートの成績に関しては、正確に情報を調べられているか（文献の正しい調べ方ができているか）、まとめられているかを評価する。他と全く同じ内容のレポート、もしくはきわめて類似したレポートが提出された場合、両者とも0点とする。 発表に関しては、発表の内容だけでなく、発表準備の際の協調性を評価する。						
(8)成績評価の基準	具体的には、受講態度（主に出席）、小テスト、レポート、最終発表を総合的に評価する。合計点90点以上が秀、80-89点が優、70-79点が良、60-69点が可、59点以下を不可とする。						
(9)事前事後学習の内容	事後学習：毎回レジメを配布するので、授業終了後の復習に役立ててもらいたい。						
(10)履修上の注意	講義であるが、必要に応じて演習を行います。演習では電卓、定規を使いますので、常時持参しておいてください。講義中の出入りは教員に対して失礼であり、また、熱心な他学生の迷惑になるので、禁止します。講義後に授業アンケートを行う。						
(11)質問,相談への対応	メールにて随時相談を受け付ける。メールアドレスは、tejima@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	必要に応じてプリントを配布する						
【参考書】	鉱床地質学、日本金山誌						